

「令和6年度修了式を迎えて②」

250324

このように大きな期待を抱かせてくれるみなさんですが、何もしなくてここまで遅く
なったわけではありません。学校は楽しい場所でありたい。けれども楽しいだけでは成
長はできない。悩み、真剣に話し合い、歯を食いしばって築き上げていく場でもなけ
ればならないと思っています。今の姿は生徒の皆さんと先生たちが、学年目標、一年
生 心を繋ぐ(熱心・真心・心づかい)、二年生 思い遣り(相手意識・矢印を外に)を定
め、苦しいことにも挑み、一緒に創り上げてきた姿だと思います。

だからこそ、4月からよりよいスタートを切るために、この春休みはじっくり自分自身を
見つめる期間にしてください。新学期は、今までの自分をリセットして、再スタートを切
る大チャンスです。新しいクラス、新しい仲間、新しい先生との出会いがあり、新しい人
間関係が生まれます。成績も0からのスタートで大きく伸ばすチャンスです。

そこでみなさんに春休み中の宿題を一つ出します。それは、「あいさつ」についてで
す。先日の生徒会役員選挙の立会演説会でも多くの立候補者が「あいさつ」に触れて
いました。私も同感で、幸田中のあいさつを今よりもレベルアップしてほしいと思ってい
ます。そう思う出来事が先日ありました。それは、朝、新館前を歩いていると上から「お
はようございます」の声が降ってきました。見上げると1年生の男子2名が、笑顔で教室
の窓から顔を出していました。嬉しくなって、私も大きな声で「おはようございます」と返
しました。そう考えると、今までにはなかったあいさつが増えてきているように感じてい
ます。あいさつをどんな場面で、どんことを心掛けるか、どんなことでもいいので、今よ
りもあいさつのレベルアップをすることを考えてみてください。それが宿題です。

さあ、幸田中の伝統を引き継ぎ、新たな伝統を築いていくのは、あなたたちです。明
確な目標をもち、温かい雰囲気の中かで4月を迎え、命を輝かせていく活動に取り組
んでくれることを期待して、修了式の式辞とします。